

科目名		学科/学年	時期	授業形態
健康管理学		トータルビューティ学科/ 1年	通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	15回	1単位(15時間)	必須	
授業の概要				
美容施術では、不特定多数の客が日々来店され、直接人体に触れて施術を行うため、各種感染症や体調変化等に対する安全管理が大切である。その為、衛生管理の知識と、トラブルや体調の急変に対応できる救急法の知識が必要である。本科目では、衛生管理の基礎知識や現場で想定される救急の対処法を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
各感染症の詳細とその予防方法、機器、備品ごとの消毒、管理方法を身につけることで、サロンの衛生状態を保ち、顧客に快適な環境、安全な施術を提供することができる人材となる。また、サロン内で起こる顧客の体調変化に気づき、適切に対処できるようになる。				
教員紹介				
・エステティックサロンにて勤務経験のある講師が、実務経験に基づいて健康管理に関する理論授業を行う。				
回	テーマ	内容		
1～3	衛生消毒	衛生消毒①理論Ⅰ・Ⅳ：エステティックと衛生管理、感染症		
4～6	衛生消毒	衛生消毒②理論Ⅰ：消毒法の種類とその使用法		
7～9	救急法	救急法①理論Ⅰ：サロンにおける救急法の基礎知識		
10～12	美容痩身学	美容痩身学①美容痩身学：太る、痩せるのメカニズム、肥満の定義、肥満の判定基準、メタボリックシンドロームとは		
13～15	美容痩身学	美容痩身学②美容痩身学：肥満の要因と対策、サロンで起こりうるけがと急病①		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・日本スパ・ウエルネス協会 ソワンエステティック理論Ⅰ・Ⅳ ・日本スパ・ウエルネス協会 美容痩身学		期末試験 出席率 授業態度 小テスト	75.0% 10.0% 10.0% 5.0%	

科目名		学科/学年	時期	授業形態
健康管理学		トータルビューティ学科/ 2年	通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	45回	3単位(45時間)	必須	

授業の概要

生きていくうえで不可欠な仕組みであるホメオスタシスシステムの1つである免疫について理解を深め、身体の内から美と健康に導くトリートメント方法について、スパセラピーやアロマセラピーを例に挙げ、人体や精神に与える影響について学ぶ。また、健康に痩せるための肥満の仕組みや、脂肪の種類別の対策、脂肪燃焼のプロセスについて学ぶ。

授業終了時の到達目標

身体の中から健康になるための様々なトリートメント方法を学ぶことで、各人に最も適したトリートメント方法や指導方法を選択、提供できるようになる。また、健康的な美とはどのような状態かと理解し、説明ができるようになる。

教員紹介

・エステティックサロンにて勤務経験のある講師が、実務経験に基づいて健康管理に係る理論授業を行う。

回	テーマ	内容
1～3	美容瘦身学Ⅱ	美容瘦身学①美容瘦身学：1年時の復習、肥満の要因と対策
4～6	美容瘦身学Ⅱ	美容瘦身学②美容瘦身学：脂質の種類と役割、白色脂肪細胞と褐色脂肪細胞
7～9	美容瘦身学Ⅱ	美容瘦身学③美容瘦身学：内臓脂肪と皮下脂肪、むくみ(セルライトとむくみについては定義と発生要因)
10～12	美容瘦身学Ⅱ	美容瘦身学④美容瘦身学：美しく健康に痩せる、脂肪燃焼のプロセス、停滞期とリバウンドのしくみ
13～15	衛生消毒	衛生消毒③理論Ⅳ：感染症、衛生管理の基本、消毒薬の希釈法
16～18	免疫学	免疫学①理論Ⅱ：解剖生理学(免疫系)
19～21	免疫学	免疫学②理論Ⅴ：皮膚のホメオスタシス
22～24	免疫学	免疫学③理論Ⅴ：免疫系
25～27	免疫学	免疫学④スパセラピー：ストレスとホメオスタシス
28～30	免疫学	免疫学⑤スパセラピー：免疫力を高める食事療法
31～33	スパ理論	スパ理論①スパセラピー：スパ概論、水の特性と作用
34～36	スパ理論	スパ理論②スパセラピー：湿式トリートメント、乾式トリートメント
37～39	スパ理論	スパ理論③スパセラピー：乾式トリートメント、スパにおけるセラピーの実際
40～42	スパ理論	スパ理論④スパセラピー：スパにおける食事療法(その他の食事療法)、スパの運動プログラム
43～45	スパ理論	スパ理論⑤スパセラピー：スパの環境と設備、スパで求められる人材、スパセラピストの業務

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・日本スパ・ウエルネス協会 ・日本スパ・ウエルネス協会 ティック スパセラピー ・日本スパ・ウエルネス協会 ティック理論Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ	美容瘦身学 ソワンエス ソワンエス	期末試験 出席率 授業態度 小テスト	75.0% 10.0% 10.0% 5.0%